

第三章 やすらぎの健康福祉都市

介護保険制度が順調にスタートしました



訪問看護の看護婦さんと楽しいひととき(神田キヨさん 85歳・將軍野)

介護保険制度が始まって、高齢者福祉を社会全体で支える新しい時代が訪れました。また、ゆとりある子育てを考えて、医療費助成の拡大やファミリー・サポート・センター事業も進めます。

70歳以上のかたに 高齢者バス優遇制度

四月からスタートした介護保険。市民のみなさんが安心して介護サービスを利用できる体制を整備し、制度の周知と利用の促進をはかっていきます。

七十歳以上のかたを対象に、バス専用回数券千円分を五百円で購入できる「高齢者バス優遇乗車助成事業」を始めました。また、傘寿、米寿、卒寿、白寿の節目のお祝いに商品券をお贈りする「いきいき長寿祝い事業」も実施します。

要介護認定で、「要介護4または5」と認定された六十五歳以上のかたを在宅で介護しているかたに、月額五千円の介護慰労金を支給します。

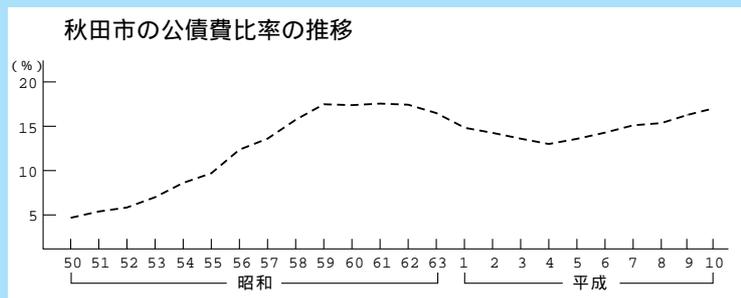
障害のあるかたに 24時間ホームヘルパー

障害者への二十四時間巡回型ホームヘルパーの派遣を開始するほか、知的障害者の日中一時預かりを始めます。精神障害者のバス利用を無料にします。

乳幼児の医療費助成を 8月から未就学児まで拡大

延長保育や、障害児保育を充実させるほか、病氣回復期の乳幼児を対象とした一時預かりを始めます。保育所の三歳未満児を保育している

秋田市の財政状況を見る。



公債費比率

できるだけ低いことが望ましい

借金返済の一般財源に占める割合

公債費は、道路、学校、公園といった公共施設を建設するためなどに行った市の借金(市債)の返済金です。これが一般財源に占める割合を公債費比率といいます。

この数値が高いほど財政は硬直化しているとされ、秋田